

## ◎英語の問題の解き方のコツをまとめます。

英語が少し苦手を感じている人は、英語の語順に慣れていないからだと思います。  
例えば、次の①のような日本語を、並び替えもしくは英作文する問題があったとします。

(例題) ①彼は昨日公園でテニスをしました。

②彼は／テニスをしました／公園で／ 昨日



He played tennis in the park yesterday.

(この例題が簡単に感じる人は、自分が難しく感じる例文で考えてみてください)

通常の問題文は①のような語順で書かれていますが、それを②のように「誰が何した」、または「主語と述語」から始まる日本語に並び替えてみます。

この例文の場合、「公園で」と「昨日」の順番は、テニスをしたことと関わりの深い順に並べてみましょう。

後は、それらを英語に変換していけば、英文が完成します。

疑問文が出題されることも多いので、慣れないうちは一旦平叙文に戻して考えてから、疑問文に並び替えると良いと思います。

上記の手順を逆に進めていけば、長文和訳や、リスニング問題も解決します。

その際に日本語が②のような語順のままでも、「誰が／いつ／どこで／何をした」という情報は、頭の中で整理できていると思います。

ここで、長文読解などに役立つ知識をいくつかご紹介します。

1. 英語の5文型「S/V」「S/V/C」「S/V/O」「S/V/O/O」「S/V/O/C」は、全てV(動詞)の前がS(主語)となっています。

1つの文中にメインとなる動詞は基本的には1つなので、それを見つけてその前の部分を主語とすれば、少なくとも「誰が／何をした」のかは理解できます。

2. メインの動詞がbe動詞の場合、「=(イコール)」の意味だと考えれば理解しやすいです。

She is Ken's sister. 「彼女 = ケンの妹」

3. 文中に「and」がある時は、その後ろの語をチェックして同じ形のものを前から探します。

She took the boy's arm and brought him to the chair.

「and」の後ろが「brought」(動詞)なので、前にある動詞「took」以降の部分と、「brought」以下が接続されている。

少なくともこれらを意識して演習を積み、単語とある程度の文法の知識があるだけで、「並び替え、英作文、長文読解、リスニング」などの全てに対応できるようになります。